京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金丹五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西署西小門通(電話六六三)　京城新報社

社說

出來た韓娼檢黴(下)

又漢城小科醫院に於ける酌婦は酌婦にして酌婦にあらず賣淫するは公然の秘密にして純然たる娼妓と些々の異なる點なきのみならず寧ろ公娼以上の行爲に出でつゝあるは爭はれざる事實にして而も近來に於ては賣淫婦の跋扈跳梁は其の極に達したるは憤歎に堪へざるなり而して賣淫婦の跋扈跳梁は取りも直さず花柳病の蔓延傳播を證する所以なれば京城の將來を考慮する時は聊か寒心せざるを得ず、抑も花柳病が如何に恐るべき病毒なるかは何人も熟知する如く一たび之に罹るれば患者の自身の苦痛のみならず其の療法にして姑息的なるに於ては全治じ能る如く見ゆるも其の實は全治せしにあらずして體中何處にか潛伏し居るものなれば之れ等の病毒が子々孫々に遺傳して[illegible]なれば子孫繁殖の上に大なる影響を興ふるは今更ら吾人が重ねて贅述する要なき也一例を擧ぐれば彼の佛國が今日生產統計の年々減につゝあるは一國に於て墮胎の風習行はるゝならんも大なる原因とも云ふべきは普佛戰爭の際巴里籠城の時に盛んに花柳病の傳播され我は平和恢復して一層社會に傳播せられたる結果今日と雖も尙其の毒風浸潤して生兒減退の根原たるなり之れに據つて見るも如何に花柳病の恐ろしきかを知るに難からず、然らばこの京城に於て如何すべきか云ふまでもなく賣淫婦は地理上到る處存在せざるなきものなれば京城の如きもこれを根本より撲滅する事は云ふべくして實行されざるものなれば要は取締を嚴にして完全なる花柳病豫防を考究するは目下の急務ならずんばあらず、故に彼等自衞上の健康診斷にのみ放任せず當局に於ても相當の處置を執るは最も必要の事ならん然れども公娼との關係上强制的檢梅する能はずとせば密淫賣婦として容赦なく檢擧せば自然と其の數を減じ併せて幾分花柳病豫防にも亦大に與つて力あるものなり又甲種藝妓も同じく娼妓的行爲あるものは宜しく檢擧し以て完全なる豫防法を計るは當局者の義務ならんと信ず是に於て吾人は當局者に完全なる花柳病豫防法勵行を希望すると同時に過日警視廳が韓娼に對して檢梅を實施したるを感謝し而して益々嚴密なる處置あらば幸いとする者也(大頭生)

銀塊は前途好望

關稅改正の影響なし

先月二十六日印度政府が銀塊輸入稅を一割五分に引上げたる前後一時倫敦市場に於て銀相場の低落を來したるが其後同は一押あるべしと期待されたるに拘はらず二十三片十六分の三を最低として漸次引返し十四日倫敦よりの入電によれば現物は二十三片十六分の十一となり先物は二十三片四分の三となりたりと云ふが右は印度のよりの買物が倫敦市場に現はれたるに由ると云ふ尙ほ先物の好調なるを見れば印度に於ける銀塊のストックは意外に僅少なりしものゝ如く思はるゝのみならず今回の增稅は印度の銀塊需要に左じたる影響をも與へざるべきを知るに難からず今後更に特別の事情を生ぜざるに於ては銀價の前途は毫も悲觀を要せざる可と云ふ

●韓米豆の大坂相場

滿洲大豆の歐洲輸出盛況となりて一時空賣の夥多なりし結果昨年十月末に於て約定品の受渡しに際し空賣連の現物蒐集難を感じて頻に高價を以て買廻りたるも尙意の如く入手する能はざりしより之が見代りとして韓國大豆の買收を始めたれば是れ亦空前の大暴騰を告げ韓國農民は擧つて大豆を蒐集し可及的賣放ちたるため昨今に至るも尙高位を保ちつゝあるに反し韓國米は本邦米價の低廉なるを以て不引合を唱へ賣控へ居りて今尙多數の米を抱へつゝあれば米價は依然として昂進すべき模樣なく爲に現今韓國產地に於ては大豆の方遙に上位に在り即ち大阪の韓米相場一石につき十圓五十錢にして此の內輸入稅及び諸經費約三圓、韓國產地より積出港への運搬賃一圓五十錢を控除せば六圓にして之に要する籾二石と見做す時は籾摺費用を加算せざるも籾一石の價僅々三圓に過ぎず然るに大豆は大坂の相場九圓八十錢とし此の內關稅及び諸經費三圓產地より積出港への運搬賃一圓五十錢を控除せば五圓三十錢にして籾一石との比較を爲さば大豆の方二圓三十錢の高價に相當せり故に韓國農民は從來韓米用とし輸出を爲さゞりし最小粒のもの迄も輸出せるを見れば今後解氷期となるも到底多額の輸入あるべくも思はれざるのみならず前年來小麥の價格非常の高位を現せる爲昔摘釀造業者の仕込みを手控へたる向は本年度新麥興に於て仕込を爲さゞるべからざるを以て之に先だち大豆の需買を爲すべく旁韓國大豆の前途は極めて好望なるか如し

●顧問警察小誌出版

三十八年警務顧問設置以來警察事務に從事せし內部警務局保安課長岩井法學士は顧問警察小誌と題せる一冊子を編纂し警務局より出版せんとし目下龍山印刷局にて印刷中なるが其內容は顧問警察開設以來の事項及當時韓國時代に於ける各般の現象を網羅せるを以て苟くも韓國を研究せんとするものゝ爲め好箇の資料たるを得べし而して豫約の便宜を以て希望者の需めに應ずべしと

●阿片煙とモルヒ子

北韓一帶の地に阿片煙吸用者及モルヒ子注射を行ふ者極めて多く目下之が禁斷に關し當局者の苦心一方ならざるが取締方法の嚴重となりたるより吸用又は注射の現場を發見するもの年々その數を增せり今隆熙二、三年度に於ける吸用注射數を左に掲ぐべし但し漸禁とあるは既に犧牲中毒のものにて一時に禁斷する時は却つて弊害多きを以て漸次遞減せしめつゝあるものなりと

		隆熙二年度	同上三年度
阿片	斷禁	九〇	一、六八二
	漸禁	七六二	一、二六二
モルヒ子	漸禁	六七	一、七三七
	斷禁	一、三六六	一、三一九
計		二、二八五	六、〇〇〇

地方通信

▲平壤通信

▲二月の平壤炭　平壤鑛業所に於ける去る二年中の採炭高は松羅山、寺洞、高坊山並びに中三里の四鑛區を合せて切込炭四千五百五十三噸二合にして其の販賣高は消耗特約販賣へ二百八噸五台なりき尙ほ同月末に於ける現在高は四万四千六十二噸六合にして其のうち山元に塊炭四十二噸切込炭四萬二千二百八十九噸二合堂里貯炭場に塊炭三十五噸五合切込炭千六百九十五噸九合ありとのことなり

▲獸皮の好況　昨今平壤市場に於て獐の取引相當あり相場は百斤四十五圓を唱へ何れも日本內地に輸送さる日本內地にては皮革工業の旺盛につれて皮革の需用增加し重に椅子皮等に用ゐられつゝあれば今後益々輸出を增加すべし

▲初航船積荷　大坂鎭南浦間の初航船なる大坂商船會社浪船仙頭丸積にて平壤揚げ雜貨百三十一個この噸數十八噸昨十七日午後鎭南浦より大同江への艀船便にて到着したりと云へり

▲薪炭最近市況　目下木炭は一貫七錢八厘より九錢五厘を唱へ賣行は四月末頃まで好良なるべし是は昨今の暖氣につれストーブを取除き代りて木炭を使用するもの多きが故なり薪は松木の上枯れ四錢五厘、中枯れ四錢下同三錢より三錢五厘を唱へ雜木も品薄く需用供給相伴はず爲に以前に比すれば約八九厘方の騰貴を來せり大同江解氷せるも未だ舟揖によりて上流より輸入なき爲め今暫くは現場の値ならんも上流咸川地方より廻荷あらば下落は必然今後の勢なるべし

文苑

▲女性の四季　甘蔗道人

◎冬

燃ゆる薪もやゝつきて
　爐の側にやすらげく
憩ふ一人の老母あり
　花の顏月の眉
艷けかりしも今やはや
　いともはかなくさめし夢
殘る思ひは哀れなり
　長き此の世の旅の道
過ぎにし日をば思ひ出で
　來來んさきを考へて
あゝと彼の女は叫びけり
　無情の風の吹き來り
いつか此の身は浮世より
　取り去られたる其後は
物憂き事の絶てなき
　いと安樂き世界に
住み得る事の能ひなば
　わが身の幸如何にぞや

日本銘刀傳

第七十二席　邑井一講演

夫れから三郎は傍に居つた馬方に向ひ 三『オイ馬方さんや 馬『ハイ 三『何うだ今れ前が話しをして居た 馬『ハイ〳〵 三『今の鎌倉の刀鍛冶と云ふ 馬『ハア 三『夫りやア何處に居るんだ 馬『何處うてつて、俺ア親分の所へ往つて聞きやア直ぐ分るんだ 三『お前の親分てへなア何處だ 馬『ハア此の先に居ます藤太てへ、諸國の人が此の土地に來て、天狗の藤太親分を知らねえものはねえ、何でも人に頼まれりやア、否てへことは言はねへ人で、善が惡でも氣に入りやア請合つちまふ 三『何處だへ 馬『直き是れからお前五六町も先へ往つて、天狗の家と聞きやア直ぐ分るんだ 三『さうか其奴は有りがてへ……何うだい、



此奴は俺の考がへちやア、何とか工夫をしやうぢやアねえか 五『何う工夫をするんだ 三『反對に斯う〳〵斯う言つて一つ頼み込んで、天狗の藤太てへのを此方へ抱込んで、奴の腕を以て取擒めへて貰う、人が頼みやア何でも引受ける、善が惡でも引請ける、斯うやつて彼方此方捜したつて下らねへ話で在方に潜り込んで居るのも、其の天狗の藤太が知つて居るんだ 四『ようし夫れぢやアさうしやう、此れから一同揃つて、天狗の藤太の所へやつて來る、夫れを一人が驅拔け 子『親分惡者が五人揃つて、親分さんの家へ抱込みに來ますせ』と知らせる 藤『さうか、宜し何が來ても引請る 三『御免下せへ 子『エー此りやアれ入來なせへやし 三『天狗の藤太親分と仰しやいますのは 子『エー天狗の藤太は此方でございます 三『さうでございますか、お聞き下さらねねか 藤『夫りやア大請合ひでございます、まア何でございますか、此方へ御通んなすつて下せへ 三『ちやア御免んなすつて』四人上へ上がる 藤『ヤれ尋ねに預かりました、天狗の藤太は私でございます』見ると年の頃四十五六、色の淺黑い兩眼のパッチリした眉毛の太へ、肥滿した何となく油斷のない、確つかりした人物だ 藤『エー此の藤太へ何かお頼みがあると有仰います 勘『『ハイ私は堤下の勘太 五『私は諏訪の五郎藏 早『私は高島の早太 勘『此りやア私の乾兒で 藤『アーさうですか 勘『そこで貴方を男と見込んで、れ願ひがあつて出ました 藤『成程 勘『此の三郎と云ふ人物が、鎌倉で親を殺されましたので、殘念ながら讐討ちをしやうと思ふと、殺した方の奴は奉行の緣引者で、却つて殺された方の三郎が、鎌倉に居られないやうなことが出來して、到頭鎌倉の土地を離れまして、少しの緣引で私の所へ尋ねて來て、計らず諏訪の原で讐敵に往合ひました、所が何分にも先方は手は利て居るし、三人連れて討てないと云ふ處から、私共が助力をしてやらうと、是れまで參つたんで、處を漸々追掛けて、噂を聞きやア、貴方の所へ來りやア分ると云ふことも聞きました、何ども濟みませんが、何うか此の三郎を憫然に思召して、其奴等三人を引捕へて、私共の手へた渡し下されば御恩返しには何なりとも勤めますが如何で』此の御話しを藤太が聞きながら腹の中で此の野郎奴、巳れを抱込みに來やがつた』と思ひながら 藤『マア此の三郎と云ふ人の親は殺されたんで 勘『然うなんで 藤『れ前かい三郎さん 三『ハイ如何にも殘念でございます、何うか仇打の儀は、親分さん偏へにれ願ひ申上げます 藤『然う夫れは私ちが引受けませう 三『ヘエれ引受下さる 藤『引受て仇討ちをさして上げる、御心配にヤア及ばねへから、二三日私の家へ滯留してれ在でなさい、其の三人居る所も薄々私ちが知つて居るのですから、巧く手を廻して、仇打をさせて上げやう 三『ヘエ有難たうございます 藤『願はしうございます 藤『宜うございます、れ引受け致した、マア皆緩くり』と云ふんで、其の晩は飯を食はして一同を臥せらせる、又た翌日一日遊ばせる、乾兒を呼で在方に足を痛めて療治して居る、鎌倉の刀鍛冶の出立するのを取逃しちやアならねねから、見張つて居ろ』と云ふやうなことを、チョイ〳〵言付ける、三郎始め一同は大きに喜んで居る『此奴は締た、益々此の藤太のために、此方の思ふ存分に往きさうだわい』と思つて居

京城新報

大隈伯の外遊説(五)

今の時に於て國民上下の希望

砲火を以て列國中の某々國の我に對する誤解を解くのは最も容易である、而して之を爲すには我に十分なる準備があつて同時に我の得意とするところである。併し前にも言つた通り**小姑的**若しくは**成金的排日**に向つて**砲口**を開くは**君子國の耻**とするところである、茲に於て我早稻田の巨人は先以て**平和**の**大教師**として**列國**に**巡錫**するの要があるのである。

伊藤公歿後の桂侯は我政界の巨人である、彼は政治上に於て正しく伊藤公の後繼者である、世人は侯を目して官僚政治家と云ふ、之れ彼の**大頭**の中に何物が藏せられて居るかを知らぬからの評である。忌憚なく云へば彼は日露戰爭前に於ては僅かに官僚政治家であつたのである、併し戰爭に因つて彼は國民的勢力の偉大なることを認めたのである、露國に對する戰捷が全く國民的勢力の發現なることを悟つたのである。智一世を擢んでたる彼は我帝國をして世界的帝國となすには政治の基礎を國民的になさねばならぬことを覺つたのである、彼は氣運を察し時機を計り伊藤公歿後に於て全く**國民的政治家**となり了せたのである、世人稍もすれば桂の老猾を稱す、成程彼程の人物になれば老猾の所も僅かに在るのである、併し、併し彼には一種の**大野心**がある、其野心と云へば我邦をして名實ともに世界の一等國をならしむることである、彼は開國以來例のなき日英同盟を作つた、國力を賭して日露大戰爭をやつた、而して何れも比較的に成効した、今や彼は雄心勃々日東大帝國の基礎を世界的に堅めんとして居るのである、記者を以て評せしむれば現在の桂は官僚政治家と云はんよりは寧ろ何かの都合により**官僚の假面**を被れる國民的政治家と稱するの妥當なるを信ずるのである。

伊藤の生前に於ても大隈は在野豪中の豪であつた、死後の今日に於ても亦而りだ、伊藤は剛愎にして實は妙な事から大隈を厄介視して居つた、之に反して桂は大隈を遇するに先輩を以てして居る、否な只に先輩として尊敬するのみならず老伯と共に國事を行ふの國家の爲なることを信じて居る、老伯の競爭者たる伊藤は亡くなつた桂は誰に遠慮することも要らぬ、**三田と早稻田**との間は相許すこととなつた、斯くて老伯は後進桂の爲に一肌脱ぐことの國家の爲なることを信ずるに到つた。

大隈の外交上に於ける位置は其在朝在野を問はず昨も今も同じである、彼は國民を代表して外交の大勢を作りつゝ同時に左右しつゝあるのである、敢て桂より頼んだとも勸めたとも云はない併し桂にしても大隈の外遊を望む今日より切なるはなく大隈にしても一生の思出に**國家に御奉公**なすのは今日より好機はないのである、兩雄相許すに於ては何事か成らざらん、大隈の外遊は必ずや列國の我に對する誤解を解き同時に我外交に**新紀元**を作るに大補あることゝ信ずるのである。(完)

東京電報

▲**本野大使の拜謁** 今般臨時露西亞に歸任すべき本野大使は本日午前十一時三十分參内 天皇陛下に拜謁仰付られたり(二十日着)

▲**通信社長の謁見** 米國聯合通信社長ストーン氏は今般來朝に付敬意を表する爲め同國大使同伴本日午前十時三十分參内 天皇陛下に拜謁仰付けられたり(同上)

▲**久邇宮の御招宴** 久邇宮邦彦王同妃兩殿下には二十四日正午岩倉宮相以下各宮内官陸海軍將校二百餘名を芝離宮に招待せられ兩殿下歐州より御歸朝御披露の爲め宴會を開かるゝ筈にて招待狀を發せられたり(廿一日着)

▲**日本協商説の打消** 近頃紐育ウォールド紙記載日米協商説に就き倉知政務局長は該風説は何等の根據なき全く揑造説なりとて之れを打消せり(同上)

▲**漁船遭難ご墺大使** 千葉、茨城兩縣下漁船遭難に付き墺國大使は被害遺族に對し金百圓を寄贈せり

▲**五月場所初日決定** 五月場所東京大相撲は相撲道の吉日五月十一日を以て初日とすることに決定せり

▲**陸軍給與令の改正** 官吏增俸案に基く陸軍給與令の一部改正は脫稿して法制局に廻附せられたれば來る十日頃發布せらるべし(同上)

▲**閉院式日の決定** 第二十六議會は明二十三日を以て開期滿了に付二十四日閉會式を行はせらるゝに決定せり(廿三日)

▲**伏見宮の御一行** 伏見宮貞愛親王殿下には御渡歐の途次大浦農相の一行を隨へさせられ來る二十六日名古屋へ御成り翌二十七日翼贊大會及び共進會に御臨場あらせらるゝ御都合にて同地にては目下歡迎其の他に就き取急ぎ協議中なり(同)

▲**發明館の開館式** 工業所有權保護協會にて本邦發明品を公衆の展覽に供する目的にて本日午前十時盛大なる開館式を擧行したり

▲**農務官制の改正** 農商務省にては行政整理に伴ふ一部官制を改正し同時に從來分課規程に改正を施し二三分課の廢合を斷行すべし

▲**東拓改正案可決** 本日貴族院に於て關税案に關する兩院協議會の成案を可決し尚ほ東洋拓殖會社改正案、農工銀行、勸業銀行、北海道拓殖條例、登記税法各改正案及び韓國鐵道官吏恩給扶助料案等何れも可決通過せり(同上)

▲**德川公の送別會** 貴衆兩院議員は近く渡歐の途に就く貴族院議長德川公の送別會を二十七日開く事に決定せり(同上)

歐洲電報

▲**獨新聞と清大臣** 獨逸新聞は數年間獨逸駐剳の清國公使蔭昌が陸軍大臣に任命せられたるに關し祝辭を贈れり(二十日着)

▲**露國議長の逝去** 露國々會議長コシスコフ氏は逝去したり

▲**英普兩帝の會見** 英國皇帝及皇后は地中舟航の際フロイス國カプリシーモンテに於て獨國皇帝及皇后に會見せらるべし(同上)

大連電報

▲**安死刑期の決定** 兇漢安重根の死刑は一旦二十五日に内定せしも當日は韓國乾元節に相當するを以て一日を延期しては如何との統監府よりの注意を容れ二十六日に執行する事に決定したり而して安重根の遺骸埋葬地に就て本人は韓國獨立の期までは死すとも歸國せずとの誓なれば是非哈爾賓に埋葬し呉れよと述べ安の母は故鄕信川を主張し未だ決定せざるも友人の忠言もあり結局旅順に葬る事となるべし(廿二日發)

雜報

議會と韓國問題

(十九日統監府着電)

本日貴族院東拓法案委員會に於て勝田局長大体の説明をなし古市其他諸員より會社の小作收入韓國政府の出資すべき土地四分の三賃貸關係並改正法案等に關する質問に對し小官之を答辯し委員會は圓滿一致を以て本案を可決せり衆議院本會議に於ては四十一年度豫備金支出の件及裁判の共助法及執行共通並北韓鐵道及航路開始の建議案を可決せり關税定率法案に關する貴衆兩院の協議會に於て穀類の税率は衆議院修正の通り又衆議院修正に係る第六條の六十四錢を四十錢に修正何れも決定し衆議院は之を可決せり尚ほ本法案は實施せらるゝとも特別の取扱ひに依り韓國輸入米には寧ろ有利なること曩きに屢々電報したる通りなり

國有漁基の出願

國有漁基に關する權利既得者は漁業法發布當時從來の慣行に顧み參酌を加へて本年三月末日迄繼續營業を許したりしが該漁基は其現在數約千箇所ありて元帝室財產の一部なりしかば孰れも比較的有利のものに屬す故に該漁基出願に就ては特に其手數料を二千圓以內と規定し普通漁基と區別を設けあるが有利のものに向つては自然希望者多數なるを免れず現に期日の切迫と共に從來の從事者を始め其他の出願者續々現はれ來り愈々之を決定せん時は激烈なる競爭を惹起すべく當局者は最も愼重に之を處理すべしと云ふ

地方治道と閣議

内部工務局に於ては前年來二百五十萬圓の經費を以て地方治道を繼續施行し居りしが今や經費も餘す處三十五六萬圓にして工事も本年度に於て終了すべきより更に來年度の事業として(一)咸北道淸津會寧間茂山嶺附近に於て五里(二)咸南道柳島、永興間六里(三)同上咸興、西湖津間に四里(四)黃海道沙里院載寧間六里(五)忠北道鳥致院、淸州間(六)慶北道慶州、浦項間七里半(七)光州、全州間に於て若干里此外四五線の開鑿工事を計畫し經費百四十六万圓の追加豫算は廿一日の閣議に於て決定せしならんといふ

兇漢の起訴に就て

(伊藤保檢事の談)

兇漢李在明に關する地方裁判所檢事局に於ける審問は既に終結し近々起訴せらる可報せしが伊藤檢事の談によれば

▲**起訴期尚未定** なり尤も大体に於て之を終了せしも尚は搜索を要するもの之を故に何時起訴の運びに到るべきか今茲に明言する能はざるも唯だ其遠からざるべきは確かなり

▲**調書一千餘枚** 元來事件の性質が政治的意味を有するを以て其關係亦頗る廣く隨つて彼の安重根の如く之が審問調書に於ても斯く多數に達し殆んど一千數百枚を算する程なりと而して檢事は一括せる書類を手に捧げしが如何にも多數にして固く壓搾して其嵩さを計るも一尺以上に及ばん程なり

▲**兇漢及び連類** の系統は目下之を發表し得るの機に到らざるも要するに耶蘇教徒もあり學校教師もあり留學生の如きものもあり種々雜多にして所謂政治的生活を營む壯士の類なり而して現在審問中に屬するものは二十八名あり其内逃走せるもの若干あるが是等が全部起訴せらる可きか明言する能はず

▲**排日系統搜索** 安重根事件に次いで起れる李在明事件は從來警匪の裡に其行動を隱匿し居りし所謂排日系統の搜索研究に一道の光明を與へ其關係は一目瞭乎としてエッキス光線を以て照寫するが如し然れば今後彼等は到底秘策密謀を逞ふするの餘地なかるべし

▲**日本人辯護士** 希望云々に就ては未だ本人より申出でなく唯だ新聞に於て始めて之を知れる位なり若し其希望ありとすれば何れ檢事局へ通知あるべし

●**民團事件調查終了** 民團税吏の公金費食事件は既報の如く寺嶋統監府屬主任となり調查中なりしが三箇月餘の長時日を要し漸く去る十九日を以て全部終了せり其結果公金不明に屬するものは約三千圓の巨額に達したるが一方記錄整理の點に於ても頗る亂雜の跡ありし爲め調查し得たる書類により更に再調查を遂ぐるの必要あり旁々最後的調書の作成を爲し之を復命し民團へ對し檢査確定の通知を發するまでは尚は多少の時日を要すべし又裁審廷に於ける犯人の調查も該調查に依りて大に進行を得べく隨て該事件も近く決定すべしと

●**全國森林調查着手** 既報したる如く農商工部に於ては今回愈々全國の森林を調查することに決定し調查班を十一組となして三月下旬より各道に出張せしむる由なりと

●**統監府員の大淘汰** 統監府に於ては來る七月普通文官試驗及び裁判所書記官試驗を執行する由なるが其結果に依りて現在の無資格者及び無能者の大淘汰を行ふべしと云ふ

●**兩艦隊の韓海遊弋** 既報の如く我が第一艦隊敷島、石見、周防、相模、三笠、肥前の六隻は十九日釜山に入港し第一艦隊は二十一日元山へ入港二十三日迄碇泊の豫定なりと

●**實業學校の修業式** 仁川官立實業學校に於ては明二十四日卒業及び修業證書授與式を擧行する筈

●**購買組合の發起** 大韓民報社員の山內重郎氏等は當地に於ける日用品の市價が品質の良否に關せず一樣ならざる弊風を慨し之れが矯正を主とし顧客に便益を與ふるの目的を以て法人組織の組合法講究中なりしが既に有力なる贊成者をも得たれば不日發起人會を開き其筋へ申請するの運びに至りたりと

●**參與官會議例會** 二十三日午前十一時三十分より參與官會議例會あり石塚官長の外小宮、綿井、國分各參與官、岡本通信管理局長代理、松寺司法廳長官代理、中山書記官等參列したりと

●**漢城府尹の招宴** 漢城府尹張憲植氏は來る廿五日の乾元節に於て日韓の重なる官民新聞記者を鐘路廣通館に招待する筈にて夫々招待狀を發せりと

●**在仁大分縣人會** 在仁川大分縣人春期懇親會を來る二十七日午後六時より同地八坂樓に於て開催する筈なりと

●**若林總監の招宴** 若林警視總監は二十二日午後七時より官民有志數十名を花月樓に招き盛宴を催したりと云ふ

秋山將軍の着京

北韓視察中なりし騎兵監陸軍中將秋山好古氏は廿二日午後八時二分龍山驛着明石參謀長の官舍に投宿されたり將軍は伊豫松山の出身(岡運輸課長令弟)なるを以て愛媛縣人會は一夕將軍を花月に招待し歡迎の意を表する筈なりと

英蘭銀行の利上

ロンドン電報に因れば英蘭銀行は最近に於いて公定割引步合を四分に引上げたり、而して其影響にや紐育は四分半に伯林は三朱八分の五に昂上したりと以上の狀態にして今後繼續せば我**四分利の公債借替**に不利の影響を及ぼし來るべし

貯蓄銀行の設立

京城の紳士連和田、關、古城(梅溪)秋吉山口、中村、古城(管堂)及梶原等の諸氏は今般資本金拾萬圓の株式貯蓄銀行を設立せんとし目下理事廳に申請中なるが元來貯蓄銀行なるものは零碎の資金を吸收し細民を得意とすることなれば貯蓄銀行に關する法規は最も嚴重の規定あるを見るなり即ち同銀行の取締役は在任中に生じたる銀行の義務に付き連帶無限の責任を負ふて同時に拂戾の擔保として預金總高の四分の一より少なからざる金額を利付國債證券又は地方券にて供托所に預け入るゝを要するものなれば最も着實なる銀行家すら往々失敗を招くことあり加之母國に於ける此種の銀行は多く親銀行を有するに依り一朝取付等の起ることあるも其の餘裕綽々たるものゝみなるも今般申請中の京城貯蓄銀行は其發起人たる何れも勸農會社の重役連にして之れが預金の運轉は重もに勸農會社に於て爲す筈なれば高利貸的の性質ある同會社との關係上より頗る危惧を懷き居る者多しと云ふ(京通)

●**韓銀貨幣發行週報**

銀行券總發行平均高(自三月十三日至三月十九日)		一三、〇〇八、〇六〇
内	正貨準備發行高	四、七三七、九二九
	保證準備發行高	八、二七〇、一三一
	保證準備手許有高	五、二二〇、一六九
銀行券市場平均流通高		一二、四八五、八八一
硬貨發行額(三月十九日現在)		五、七四九、〇八〇
内	金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
	同 十圓	五〇、〇〇〇
	同 五圓	五、〇〇〇
	銀貨五十錢	九三三、〇〇〇
	同 二十錢	一、四〇二、五〇〇
	同 十錢	九五一、〇〇〇
	白銅貨五錢	六七二、四〇〇
	青銅貨一錢	二五九、二九〇
	同 五厘	八〇、八九〇

●**京城會議所の總會** 京城商業會議所に於ては二十三日午後七時より總會を開き過日の役員會に於て調查したる定款改正の件及び四十三年度の豫算を審議する由なりと

●**豫算委員會の審議** 當民團豫算委員會は廿二日午後六時より前回に引續き開會歳出は前回に於て查定したるを以て歳入を審議せり

●**築港期成會の總會** 仁川築港期成會は廿三日午後七時より民役所樓上に於て總會を開き上京委員組織改正其他重要事項に付審議する筈

●**熊谷前民長の就職** 前京城民長熊谷賴太郎氏は今回島根縣の某郡長に就職することに決定し來月上旬中に京城を去るべしと云ふ

●**米國總領事の消息** 目下歸國の途に在る京城駐在米國總領事夫妻は去る二十一日午前十時二十五分宣川より新義州に向へりと云ふ

●**碧蹄舘の講演** 統監府地方課有志の發起に係る碧蹄館踏查團は二十日午前九時鐵道及び馬車の二手に分れて出發し正午過ぎ同地に落ち合ひ午後一時三十分より約二時間に渉り廣田文學士の講演あり一同紀念の撮影を爲し午後四時より三十名を限り馬車に搭乘し他は悉く五里の嶮路を徒步し午後八時歸京したり當日來會者は京龍を通じ約百五十名に達し非常に盛會なりし

●**山口財務官入京** 晋州財務署財務官山口豊三氏は去る二十日入京したり

●**河原知亮氏歸任** 入京中の黃州區裁判所判事の同氏は二十日歸任したり

●**關谷軍醫の出發** 關谷軍醫中監は廿一日仁川出發高砂丸にて大連に向ふ

●**岡崎遠光氏歸京** 東上中の日韓瓦斯電氣會社專務取締役の氏は此程歸京

●**芳川寛二氏東上** 結婚披露の爲め新夫人同伴二十六日出發東上すべしと

●**安藤檢事の出發** 統監府檢事安藤壽氏は去る二十一日出發仁川に向へり

龍山通信

(廿二日 支局發)

▲龍山民團にては今二十三日民會を召集し豫算委員の查定したる豫算案を附議する筈なるが右の外民團立[illegible]院設立の件、[illegible]費徵收の件及四十二年度歳入出豫算更正の件等の議案提出さるべし▲龍山小學校に於ては今二十三日午前十時より卒業證書授與式を擧行する筈因に同校在學生は八三二にして内及第者七八〇名總体に成績良好なりしと▲龍山横貫鐵道期成同盟會より東京に派遣したる委員は前日既に歸龍せしが來る二十六日頃報告會を開く豫定なりと▲羅南駐屯の騎兵第六聯隊長片野少佐は去る二十一日來龍騎兵營內に宿泊せり

▲治外法權▼

彼岸の中日も過ぎ時候は良くなり日は永くなつて花見への旅行の季節となつた、京城新聞記者團同人中には此季節を利用して十三道の視察旅行に出掛ける向もあるとの事だ▲韓國は京城なりとの古い考はモー止めねばならぬ今日の時勢半島問題を談ずるものはまづ何よりも十三道地方の狀態を知つて居らねばならぬ、殊に社會の耳目として立つ新聞記者としては特に知り置くの必要がある▲記者の考にては此際ドーセ行くなら只に少數の有志許りでなく一層の事各新聞の代表者が團体を作つて大擧する方が何かに便利で亦面白く且つ多少社會の耳目一新に資するだらうと思ふ▲我記者團にして上記の計畫を實行するに於ては統監府も軍司令部も何かに付けて相當の便宜を與へることゝ信ずる、而して記者の如きは視察團末班に列するの榮を擔へば擔序に從軍ともなつて供をする積りである▲京城日報社が福岡名古屋の兩共進會を當込み內地觀光團を催すのは至極結構の事だ、記者は同社の計畫が大々的に成効することを希望する▲希望序いでに慾を云へば費用の百二十圓は少し高過ぎる樣だ、一寸算盤を持つて見ると一人前八十圓なら僅かにあがる、宏量なる京日社は此際提供に變更を加へ一方人員を增し一方費額を減ずるの事に出でんことを、さすれば薄利多賣の主義に恢つて大々的成効は疑ない事である▲過日昌德宮の園遊會で紙作りのライオンをホントの馬が後足で蹴つて得意がつてるのを見た、世間コンナ喜劇は幾らもある▲昨日の京日紙に安重根の手蹟が寫眞版にして揭げてある、御用紙は刺客の獎勵でもやる積かね、

惨酷なる二葉亭(一)

元は公主嶺にて……憲兵伍長……清人を脅迫して退清命令……

本町一丁目に二葉亭と云ふ淫賣家のある事は大方の淫賣通君は百も承知の事と存ずる處び酌婦の大勢なのと其の又酌婦を虐待する事の評判も大したものである事も是又能つくに御承知の筈先づ第一に世間の噂の惡い其の論より證據は軒下に掛くべき行燈の中ぶらりんに二階の柱に引掛けてあるのを見ても解る 軒下に掛けて置いては破らるゝから此の二葉亭の樓主と云ふは元憲兵伍長とかを奉職して居つた弘津芳太郎と云ふ男で[illegible]に[illegible]と云ふ是が女房の高田シカと云ふ女が客でも擲いて食へぬ代物で常に[illegible]を泣かせる役目は此の[illegible]妓供の爲めには地獄の閻魔と云ふ格だ處で抑も憲兵伍長迄も勤めて居つた此の弘津が何故本職を辭めて遊飲店の主人公と云ふ者に化したかと云へば是には數々の筋道がある者の順序として先づ事の書初から話す

日露戰役後渡韓公主嶺の憲兵隊に[illegible]福岡縣[illegible]里一千百四十四番[illegible]弘津芳太郎と云ふ憲兵があつた隊中でも些少腕利きの方で上官にも多少目を附けられて居つたが善に拔目の無い弘津は惡の方にも拔け目が無かつたので遂々末が清人を脅迫して某の金員をチャバーと云ふ事が露顯に及んで本官を免職と同時に四十年五月十九日附を以て向ふ二ヶ年間清國在留禁止と云ふ有難からぬ退清命令を受けて縄附の儘大連へ護送された

韓人殺害事件

▽他殺か否か未だ不明

仁川府多所面松峴洞に去る十九日韓人の殺人事件ありし由は既報の如くなるが仁川署より野村警部出張檢視の結果被害者は同洞居住の金玉成(三六)と云へる者にして其母は飽迄で他殺を主張すると雖も加害者は風を喰つて逃亡し何等の痕跡をも發見する能はざるのみならず淺井醫師の鑑定する處に依れば急性腹膜炎を發して死亡したる者なりとの由にて殆ど要領を得ず目下其筋の手にて嚴探中なりと云ふ

横濱大火詳細

▽全燒四百七十戸半燒六十戸、停車場危地に陷り、瀕車三拾分間踏切に立往生す

さしも繁華なる開港地も更には丁得人[illegible]昨十九日午前〇時五十分横濱野毛町三丁目九十四番地佐藤[illegible]方より出火し、折柄南風激しく吹立てたれば火災よといふ間もなく隣家に燃え移り、轟焔忽ち四方に廣がり見る間に十八戸を燒き盡して漸次大通りの方へ延燒せんづ勢ひなるに驚き蒸汽ポンプを使用し瀑の如く水を灑ぎ掛けれど[illegible]風下を襲ひ、六[illegible]も唯一舐に舐め盡し辛くも裏通三丁目の家屋を三[illegible]伊勢崎町の消防隊は必[illegible]神社裏手にて漸く鎭[illegible]等もホッと一息吻て[illegible]に、俄然火勢は再び[illegible]面も二つに岐れて右[illegible]より花咲町五丁目に[illegible]町三丁目より花咲町[illegible]通の石炭庫を燒き去んとしたれ[illegible]署の消防夫は必死と[illegible]此方は消止めたれど[illegible]停車場の機關庫に及[illegible]長は驚き、議員を指[illegible]之も幸に無事なるを[illegible]方此方に防ぎ止め[illegible]怒に耐へず、や櫻川岸[illegible]物に燃え移りて餘燼[illegible]焰停車場にも及ばんとしたれば消防夫等の苦心一方ならず、必死となつて消止んとする時、轟々地響きさせて、進み來りしは新橋發の一番列車千里を破らん速力はあれども、この猛火を衝て驛に入ると思ひも寄らねば約三十分も大踏切にて立往生をなしたり、扨猛りに猛りし火は花咲町五丁目二百八十五戸を鳥有に歸せしめ、猶ほ六丁目に及ばんとしたるも消防隊が必死となつて働く力に敵し兼けん延燒に食ひ止められて左福島町に入り同町六十七戸を燒き拂ひ櫻川岸に出で五時四十分全く鎭火するに至しが重なる燒失建物は野毛町三丁目結城屋酒店矢活半次郎、福町藥種屋栗原清八郎、福島町待合福本芳、龜の家などにて、全燒**四百七十戸**半燒六十戸負**傷者七名**あり、負傷者は老松町小學校に收容し應急手當を加へ居れり、原因は失火らしきもいまだ確と分らず、何分深夜の事とて市民の狼狽甚だしく實に混雜を極めたりこの火災につき各保險會社の蒙りたる損失は明治三万七千圓、東京一萬七千六百圓、横濱一萬千圓、共同八千圓、神戸一万圓、大坂一萬七百圓、東亞四千圓、日本五千八百圓なるよし

●食へぬ男と食へぬ女

▽片屋三百片屋料店主婦

新町三丁目廿五番戸に谷川謹次郎(三八)と云ふ表札を掲げし所謂三百代言あり事件の善惡に不拘頼まるれば直樣飛び込んで金に爲樣と云ふ惡王なるが此の谷川兼て情交を結び居たりし本町通り七丁目花二三亭の主婦軒原花なる者と四五日前金錢上の事より悶着を生じ目下燻つた揉んだの話こそあれ元來花二三亭の主婦花と云ふは一昨年頃迄請負業の某と呼ぶ亭主のありし身なるが常に金錢の事にて夫婦喧嘩の絶ねぬより一昨年の秋夫婦共々歸國なし兩人相談の上別れ話となり花より五十圓の手切金を出して亭主とは手を切りて今度は單獨にて再び渡韓大倉組の長屋を借受けて小間物行商と云ふ至極眞面目らしき商賣を始めたと云ふは表面にて其實小間物の御用はムいと其處此處を賣り廻る内此奴と睨んだでれ助には頻りと秋波を注ぎ懸け片つ端から密淫の大安賣を始め其の關係者は何十人の多きに由なるが花今年四十三才の小兒の四五人もあり相な年頃なれど女の來たり物はなしと云ふ譬への通り手近かの方面では八丁目常盤樓の禿げ頭から九丁目は煎餅屋の老猫と年相應な男を撰び遂には新町稻荷の神主殿を手玉に取つた果ては同人に御勘當迄を致させ何自分長屋の世話燒なる大倉組員宗政某を取り込んで家賃をフイに食ひ扶持の向ふ持たせと云ふ老猾な遣方の内追々と小金を貯め込み是を資本に再び以前の處へ花二三亭の看板掲げしが以前と違つて女一人の後押がなくては滿足に營業出來ぬより蚤取眼で捜し當てしが即ち前記の三百代言谷川謹次郎なり斯くてより谷川は花二三を我家の如く取なしそれ無錢飲食、それ勘定不足と來る場合は直樣飛び出して代言口調で嚇しつけて頻りと惡口を振ひ居たりしが十日許前の事兼て病氣中の酌婦佐藤こまと云ふが前借支拂ひの上鞍替へするとの事に兩人相談の上五十圓許の借金を八十何圓と附け加へ現金五十圓を受取り殘り三十圓は衣類を押へて先づ落着となりしが落着せぬは此の受取し金の問題にて花は五圓の禮を出すと云ふ谷川は否三分一よ來せと云ふ始末にて百年の戀も金から褪めた談判中とは近所の噂さ取り／＼なり

●來客から窃盜

鹿兒島生れ當時旭町一丁目七十一番戸住裁縫職德谷八次(三六)と云ふは去る十七日午後知人白鑑正一なる者の來訪を受けたるも無一文の事とて饗應する事出來ざる爲め途調の意りにて同町旭旅館に止宿する友達檜木香之助を訪ね往きたるも同人は不在なりしが室内に懸けありし松尾義雄と云ふ者所有のインバチスが眼に入るやフト惡心を起し右インバチスを默つて借用同町鹽見質店へ一圓二十錢にて入質し其の金にて酒肴を整へ飲食せし事露現に及び取調の上檢事局へ送らるゝとは可い阿呆鳥

●憲兵の面目玉

仁川龍洞居住の妓生業李光春方に於て一昨日午後十一時金谷洞居住の舟乘業朴允奉外二名の者飲酒中突然仁川憲兵分遣所補助員なる朴用晢なる者入り來り矢庭に筋道の立たぬ文句を吹き掛けて喧嘩を挑み互ひに敗けず劣らず格鬪の最中警官通り合せ双方を取調べの上補助員の振舞聢しかりしかば嚴しく説諭して放還

●ヨボ同士の喧嘩

仁川龍洞居住の妓生抱主光春料方に於て昨日午前零時柩洞居住の金順撲(三二)外二名の韓人は京城南部后洞居住の金順爀外二名の者と些々たる言葉の行違より喧嘩に花を咲かせ順撲は順爀の頭部を痛く毆打して負傷せしめしかば警官出張加害者を仁川署に引致取調中なり

●鋸が喧嘩の因

明治町二丁目の大工職增田良助(三二)と云ふは二十一日午前十時頃日頃出入りの旭町一丁目小森材木店材木置場にて仕事中同家の人夫鄭寒鶴と云ふが仕事用の鋸の上に上りたりとて憤り詰鋸を以て同人を毆打負傷せしめし爲め南署へ訴へらる

●泥醉韓人の亂暴

永樂町一丁目日入雇人李壽兄(一九)と云ふは二十二日午前二時頃近くの韓人淫賣家に登り金梅紅なる女を呼びて盛んに酒を飲んだ果が例の泥々となつたのみか亂暴を始めて始末のつかざるより警官の御厄介

●優等雛菊苗の配布

園藝界に盛にて移殖[illegible]雛菊は其培養[illegible]は春彼岸より好期とし初夏より晩秋迄絶へず開花し盆栽又は飾床として甚だ高尙なり今回最も優美なる鮮紅○○○○雪白吹拾本を撰み箱入とし荷造送費二錢分八枚にて信州下高井郡延德村横田光治氏より花好者五百名限り送附さる好者は至急請求せられ營利者は御斷りと聞く

●種苗の無料分譲

備前國行幸村園藝試驗場にては歐米各國の珍奇草花數百種の試作中結果好良の新草花二十餘種を撰拔し何人にも送與する由希望者は袋代及び送費として三錢切手を三枚添へ申込むべしと

●御花見と寶六庵

暑いと寒いの追分道其の彼岸の中日も過ぎた今日此の頃れ馴染の奬忠壇なる寶六庵にては特に御家族御携帶の御花見客の便を圖り御安値と叮嚀とを旨とし御接待致すは來より開業二週年紀念自祝の意を表する爲め御來遊客方へ何にやら凝つたれ土產を差し上げると云ふ手害なりとか

●三越の春季賣出

本町二丁目三越呉服店にては例年の通り四月一日よりよせ切の賣出をなす由當年は隨分珍らしき數品柄澤山ありとのことなれば今から待焦れの人も多かるべし

▲支局移轉▼

本社龍山支局を若松町二十二番戸へ移轉す

龍山支局長 長野直彦

同營業主任 塀和正

目と耳

▲京城座 同座本晩の替り狂言は『津の國屋れ玉』の全通しにて其の役割は左に

紳士土井達夫(伊井)下女たけ(花井)子分岩吉(千葉)遊人源次(川崎)源次妹しげ(金澤)子分大江山の寅(桂木)松山娘花子(田中)杉山安之(高山)刑事杉山安夫(高島)源次子分留吉(上田)子分吉公(潮)巡査山本(八島)茶屋主禿兵衞(秋岡)子分三吉(光田)娼れむめ(三好)牛若達吉(美崎)女俠客津の國屋れ玉(瀬川)

▲浪花館 同館にては本晩より向ふ七日間韓國助產婦養成所の催ほしにかゝる慈善演奏會を開く由なるが其の目錄は左の如し

妓舞、一寸坊奇術、伽倻琴、寸藝、右韓國演劇、劍舞、新二和加親友會一座、琴尺八合奏、素人淨瑠璃、薩摩琵琶

▲仁川歌舞伎座 伊東一座の同座本晩の出し物は一番目『ヒストル强盜』二番目喜劇『悋氣の交換』三場にして三十錢均一の早い物勝ちとの事

●曾我廼家一座日延

▲本日より向ふ五日間

昨日を以て打揚の筈なりし壽座の曾我廼家一座は頗る好評を博し連日客足絶へざる爲め本日共五日間の日延を爲し一座は得意の演物のみを演ずる由尙は今廿三日の藝題左記の如し一番目御祝儀寶之入船(一場)二番目生死自在(三場)三番目堀川(二場)四番目性は善(二場)五番目大花火大仕掛狂ひ舞々

朝鮮の風習(一)

珍妙の事許り

國々、國々の風俗習慣といふもの外人の眼には可笑しくも珍妙にも映るものにて之れは文明國でも野蠻國でも同じことながら古き國の古き風習を其まゝ眞面目に行つて居るのは開けない國に於て最も多く且最も珍妙さを感ずる頃者某氏の朝鮮風習談を得たるにより左に記して讀者諸賢と共に其の珍妙さを味はん

子女の出生

我邦にても子に增す寶は無いといふ、朝鮮人も其通り、貧乏人の子澤山も決して苦にしない、がこれは親子の愛情として固より爾うあるべきだが祖先の祭祀を絕たない爲めといふ御都合も有る、そして子女出生の儀式は可なり勿體をつける、其次第は姙娠產期に近づきたる時は、先づ產室に充てたる部屋に軟き藁を敷きて之れに產婦を移し、產婦の親戚の女一二人附添ふて看護をする、愈々出產といふ間際には食物を戶外に撒布する、之れは生兒の幸福を祈る爲めださうな、而して出生の時刻は正確に記して之れを卜筮者に付し生兒の將來を占はしむる、產婦には出產後蜜湯を與へ又体回復の爲め苦味藥(熊膽より製す)を服用せしむる產後三日目に產室の藁は新に代へられ、七日若くは十日間は知人と雖ども產室に入るを許さないさうな、斯くてヨボヨボのオカミサンは浮世の人となる。此の次は命名である、幼名は出生後直ちに父母の好ましき名をつける、其名には玉、善、美、幸、龍、虎、犬、豚、蛙等の意味を有する文字を用ゐる、虎や犬までは日本でも用ゐるし、豚は支那に對する御愛憎としても蛙はチトひどい、奴を後足で立たせるとソレ後方を見ることになる、傲な國では繰超を祝つて前の見れる奴に因みたいものだ

朝鮮人の結婚

朝鮮人は幾歲になつても結婚して結髮せねば一人前の通用は出來ぬのは能く知られたる事だ、だから兩班などは其子女の六七歲に達する頃は早く婚姻の豫約を結むで、結髮させる、斯うなると幼年者も成年者と見做され社交上成年者の待遇を受ける譯だ、隨つて件の成年兒童は思ふ樣腕白もせず老成の態を保たねばならぬのである、今では婚姻の能力を男二十歲女十六歲以上と定められてあるが、實際は矢張り成年兒童が多い可憐なものだ。夫れから尙一つ憐れなことは、配遇者の撰定には全然當人達の意志を顧みられぬことだ、兩親が家系若くは財產の權衡を計つて決定て了ふのだから、朝鮮の女の愛とか戀とかいふものは多く結婚後に發生する、其結果は缺陷を鑿るなどの例は隨分多いやうだ。

吉凶鑑

本町五丁目 三一館判斷

三月廿三日舊二月十二日九紫先勝丁亥成△一白●不謹愼破れを生じ易し旅行●相談賃借等凶△二黑●開運日なり仕官就職依賴に吉疾病旅行移轉凶△三碧●慨して康安の日とす家庭内に紛爭煩累あらん△四綠●大抵吉自負破れあり誘惑防ぐべし△五黃●快欣の日なり激怒破れを生じ易し酒色の害を戒しむ△六白●新事見合せの事改築土木金融の事には好良△七赤●盜害横領を防ぎ詐術詭計に陷る勿れ新事及變更の事凶△八白●相談依賴等効あり建築金融の業務に好良△九紫●中宮日なり的殺なし厄運とす遺失旅行凶家畜兒女の事注意

美術半襟帯締其他紐類各種
ゑり徳商店
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

▲無料紹介欄▼

人事部
●就職依頼 三十四歳貨物取扱及通關手續に經驗あり多少英語を解す會社又は商店諸官衙を選び 氏名在社(一〇)
●急募 野菜類 協同者を求む但し經驗ある確實なる人 電話一二四二番方 ないとう

物件部
●貸家 平家一戸建間敷四間及長家一戸 間敷三間場所南大門外吉野町
●売買平家 建坪十五坪乃至十八坪の家至急買入たし 電話七四番へ

廣告

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

◎筑前琵琶教授◎
京城旭町四丁目一番地
月友會指南本部 鶴崎賢定
月友會教授支部 東司照子
龍山本町二丁目廿二番地

●滋養と牛乳●
●衛生と消毒●
純良 牛乳
馬車配達
京城東四軒町
岡野牧場
電話第〇六九番

三一舘
熱心真摯志多年研究の結果は斯道に於て断然他の追従を許さす
館主 土御門派大陰陽師
京城本町五丁目
易断鑑定
相談教授

眼科専門
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院
(電話三三三)
醫學得業士 元城病院眼科部長 江頭富雄

入院隨意
内科
小児科
眼科
龍山新市街山下町
原醫院

本品は其質醇良にて營養分に富み日常の飲料として身體を强壯にし血液を增し頗る衛生に補益有

蜂印香竄葡萄酒


宮内省御用品調達

營業科目
和洋紙類
印刷用品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
其他

委託販賣
東京 ランバーメ商會代理店
東京 中外アスフアルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 釜山合資會社特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京市京橋區南鍋町一丁目(電話新橋二九六三番)

東京
足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勧商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計
米國アンソニヤ時計
韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計御商 喜多金光堂本店
仁川本町三丁目
電話七五〇番
時計御小賣 喜多金光堂支店
京城本町二丁目
電話千十五番

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
御問屋 唐川商店
京城明治町一丁目四ツ角
電話二六一

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一一五番)

開業御披露
ゑし道樂
松たけめし 一人前三十錢
竹の子めし
あなご
ゑんどうめし
鶏
道樂はござい、ません、よい道樂はござい升せん、此道樂を發揮せん爲め、わざ〳〵大阪表からわり抜きの美人を呼びよせ釜のまゝ御座敷の眞中に持運び御嗜好に任せ按排加減を程好くして差上ます何卒御賞味かた〴〵御來遊の程ひとへに願入申ます
尚多少によらず出前も御便利に迅速にお届け仕りますから御用命の程御願申上ます
なくて七癖と申しますから隨分色々の道樂もありますが就中めし道
大和町三丁目 梅の家眞向ひ
明月
電話七三五

紙と印刷
諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭
アサヒ サッポロ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
日用雜貨 御問屋
西崎嘉七本店
京城本町六丁目
電話二一〇番 電略(ニカ)
振替貯金口座韓七番

神戸養生分院
京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
◎花柳病專門並、痔(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田
(電話一一九四)

京城ホテル
京城南山町(元日本人俱樂部跡)
長電話一二三番
電話四九二番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辦店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

韓國金屬商元祖
和洋金物商
舶來品は直輸入
日本製品は産地特約
京城本町五丁目
新案特許品數種着荷
破天荒の大勉强
長電話四五番
電信略號(ク)
振替貯金口座第一三四二二番
本店 藤本藤次郎

特約販賣
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
自製 和洋酒、罐詰、砂糖、食料雜貨、ビール、米糠、鰹節、塩辛、日本物産各種特約販賣
御用命御注文に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目(佛國教會前)
電話三五四番

論より證據來て見りやわかる
食道樂
京城壽町二丁目
電話九四四番

熱氣
牛乳
京城大和町一丁目
牧場

熟誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

★株式會社百三十銀行京城支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取、米子、境、松江、入手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干
南海道 牟岐、撫養、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、普通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 鹿方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尚州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

御料理席貸
和樂園
高田家
(電話九三七番) 米倉町
○料理は萬事御手輕にして高尚
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之集會
○又は宴會等に適當に候

[illegible]牛乳
牧場
電話一〇五番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國、日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)